

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 3 号

第 3 週(1月 17日 ~ 1月 23日)

発行年月日:平成17年(2005年) 1月 28日

発行:滋賀県立衛生環境センター
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (3週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (3週)	全国 (3週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	1	27	9	576
	腸チフス	0	0	4	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	21	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)2} 1	1	34
	オウム病	0	0	5	1	39
	デング熱	0	0	2	2	45
	マラリア	0	0	2	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	0	29	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	13	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	5	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	0	40	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	2	2	85
	梅毒	0	0	16	4	516
	破傷風	0	0	3	2	100
急性脳炎	0	0	^{(*)2} 2	1	160	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:平成17年第1週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

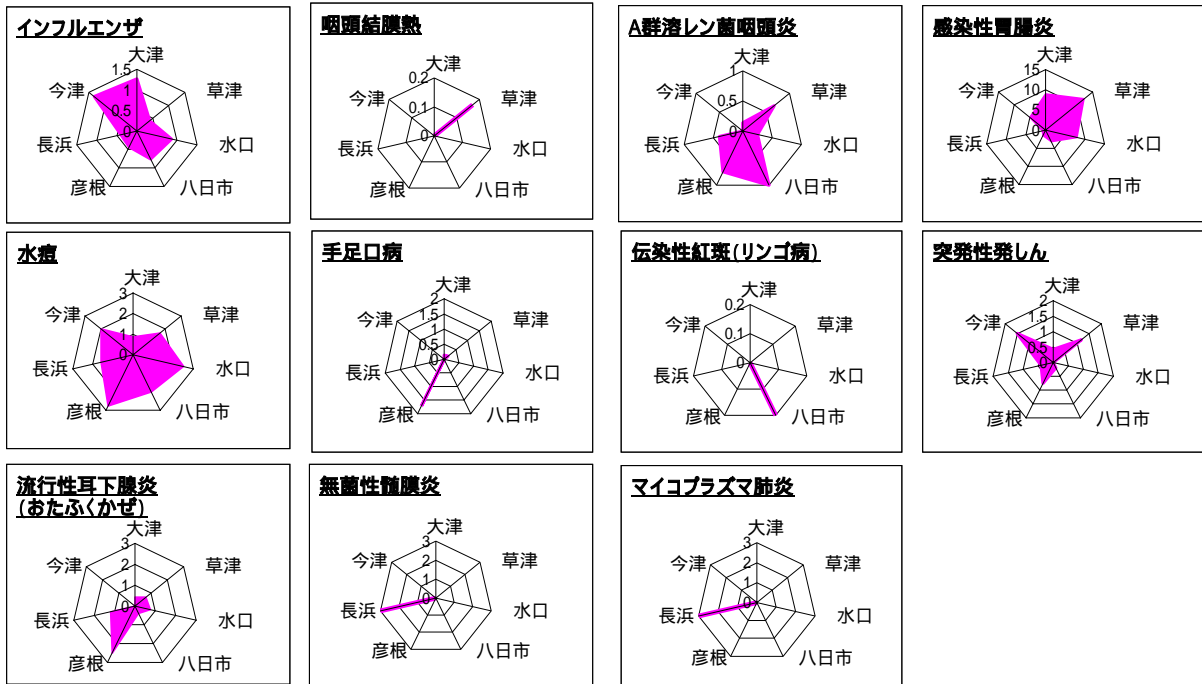
(1)疾病別・週別発生状況(平成16年第51~平成17年3週、H16.12.13~H17.1.23)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	51週			52週			53週			1週		
	(12/13~)	(12/20~)	(12/27~)	(1/ 3~)	(1/ 10~)	(1/ 10~)	52	53	1	2	3	
インフルエンザ	0.20	0.25	0.06	0.18	0.25	0.76						
RSウイルス感染症	0	0	0.09	0	0.03	0						
咽頭結膜熱	0.03	0	0	0.06	0	0.03						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	0.36	0.18	0.27	0.33	0.48						
感染性胃腸炎	6.00	7.39	3.70	4.76	6.24	6.21						
水痘	2.88	2.79	2.39	2.52	2.00	1.79						
手足口病	1.12	0.67	0.48	0.48	0.21	0.27						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.06	0	0	0.03	0.03						
突発性発しん	0.58	0.45	0.27	0.36	0.45	0.58						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0.06	0	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.24	1.24	0.61	1.64	1.24	0.85						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.43	0.29	0.14	0	0.43						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0.43	0.29	0.43						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第3週, 1/17~1/23)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.76	1.27	0.40	0.86	0.75	0.43	0.40	1.33	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.14	0.67	0.25	1.00	0.75	0.40	0	
感染性胃腸炎	6.21	9.00	12.33	8.00	3.20	1.50	0.80	5.00	
水痘	1.79	0.86	1.67	2.50	2.00	2.75	1.60	2.00	
手足口病	0.27	0.14	0.17	0	0	1.75	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.58	0.43	1.17	0	0.20	0.75	0.40	1.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.85	0.43	0.67	0.75	0.40	2.50	1.20	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については先週多かった八日市で今週も引き続き多くなっています。水痘については水口、彦根および長浜で先週より多くなっています。手足口病については大津で減少していますが彦根で急増し、定点当たり患者数は1.75となっています。無菌性髄膜炎については長浜からの報告が多くなっています。また、RSウイルス感染症については今週は報告されていません。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

A群溶レン菌咽頭炎、突発性発しんの発生は増加傾向 インフルエンザの発生は微増

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(1月10日～1月16日)の報告数とほぼ同じです。インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病、突発性発しん等は増加し、水痘、流行性耳下腺炎等は減少しています。また、感染性胃腸炎は横ばいで多い状態で推移しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

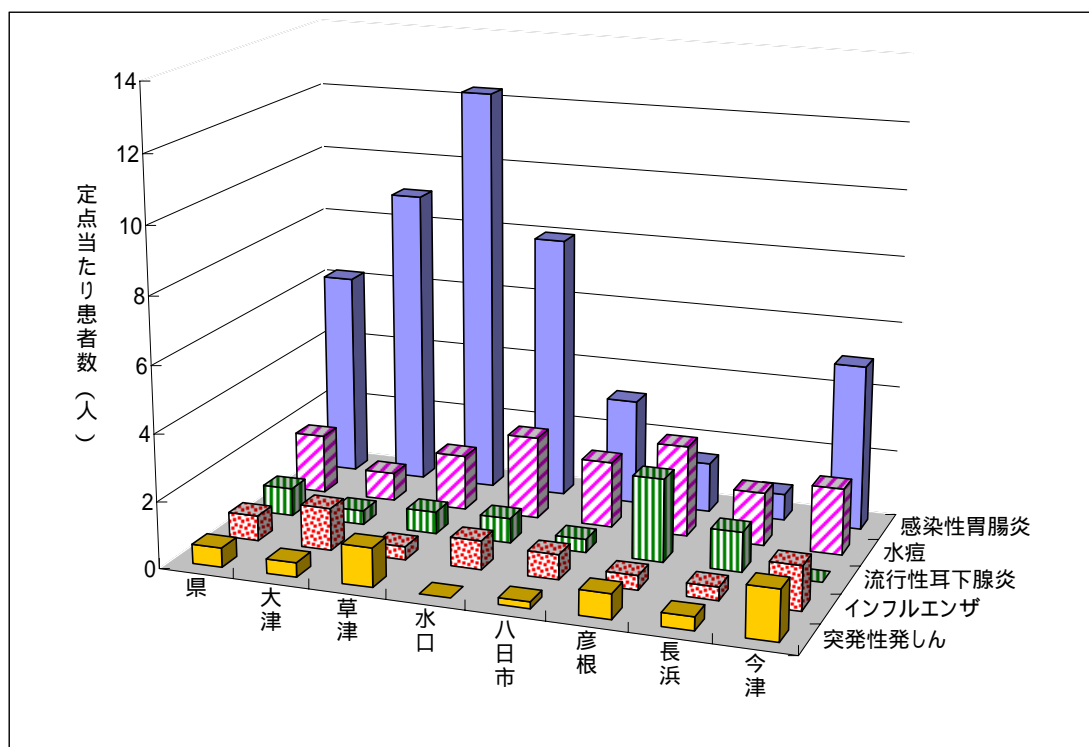
インフルエンザについては、県内すべての保健所管内から報告されており、先週の定点当たり患者数0.25よりやや増加し0.76となっています。今後も引き続き手洗いやうがいをするなどの感染予防が大事です。なお、昨年同時期の定点当たり患者数6.45よりかなり少なくなっていますが、今後の発生動向に十分注意する必要があります。

A群溶レン菌咽頭炎については、第1週(1/3～1/9)から増加し始め、今週の定点当たり患者数は0.48で八日市および彦根保健所管内においてやや多くなっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数6.24とほぼ同じですが水口、八日市および今津保健所管内で増加しています。また、大津および草津保健所管内では先週に引き続き多い状態で推移しています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数1.24より減少し0.85となっていますが、彦根保健所管内において2.50と多い状態が続いています。

上位5疾患の保健所管内別発生状況(平成17年第3週、H17.1.17～H17.1.23)



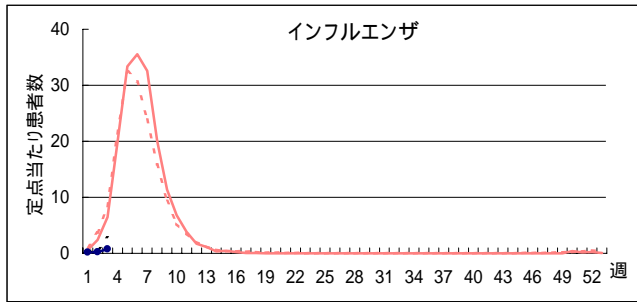
第3週における定点当たり患者数上位5疾患(感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、突発性発しん)の保健所管内別発生状況についてみると、感染性胃腸炎は大津、草津、水口および今津で多くなっています。

水痘は大津でやや少なくなっていますが、各保健所間に大きな違いはみられません。

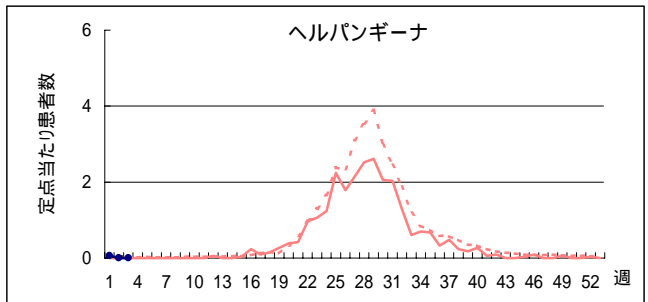
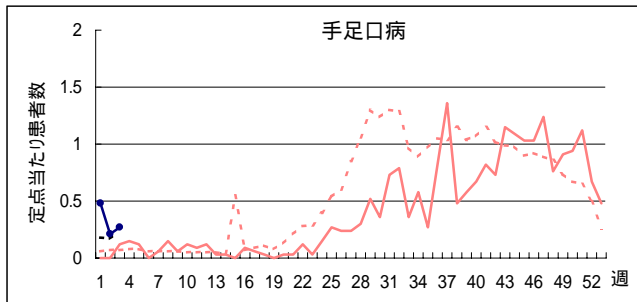
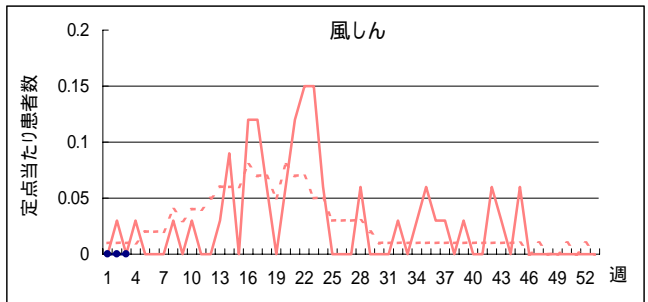
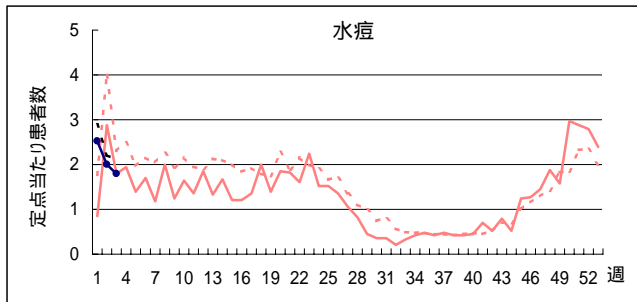
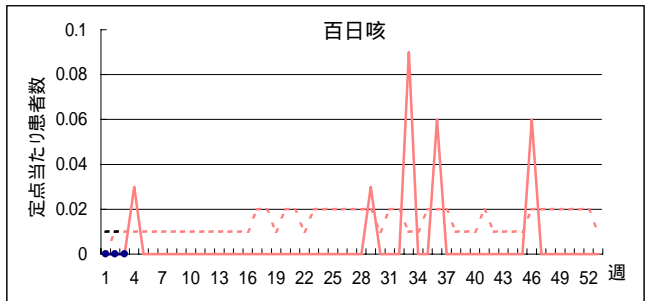
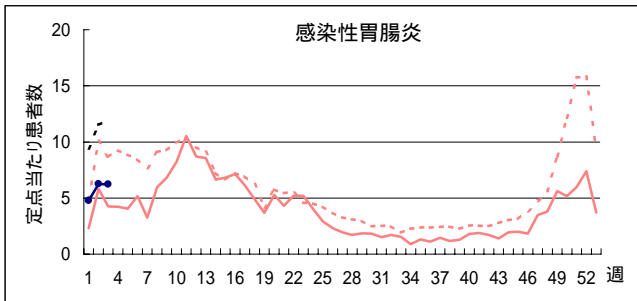
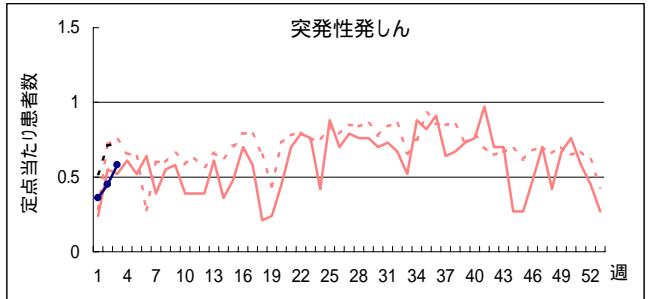
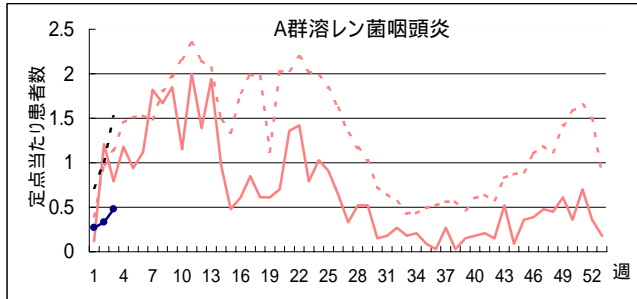
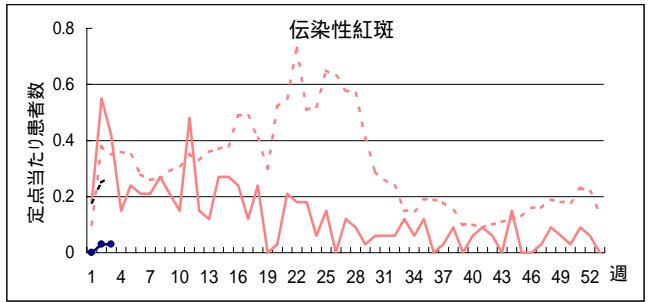
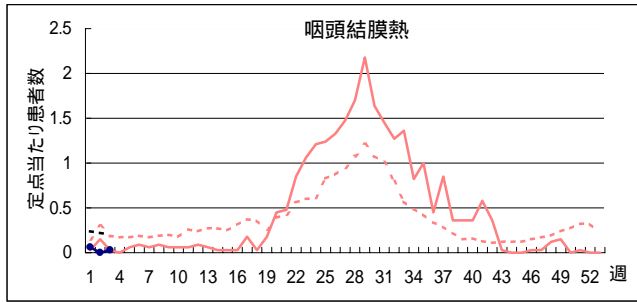
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は彦根および長浜で他の保健所よりかなり多く発生しており、この傾向は昨年の第36週(8/30～9/5)以降変化していません。

インフルエンザは大津および今津においてやや多く発生し、突発性発しんは草津および今津での発生が多くなっています。インフルエンザについては今後の発生動向に十分注意する必要があります。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第3週、H17.1.3～H17.1.23)



H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第3週、H17.1.3～H17.1.23)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

